

夏休み前の全校集会 あいさつ

おはようございます。

今年度はゴールデンウィークの10連休やG20の学校休業日があって、例年に比べて少し遅い集会となりました。

1・2年生は明日から、3年生は来週から夏休みに入ります。皆さん体調はどうですか？ 心と身体のバランスはとれていますか？ 心と身体は互いが関係しあって、いいコンディションを保っています。バランスが崩れると、勉強だけでなく部活動や学校行事、家庭での生活すべてに影響をあたえます。そういった意味でも、睡眠や食事など規則的な生活習慣を夏休みに入ってから続けるよう心掛けてください。

さて、泉陽高校は来年の2020年に創立120周年を迎えます。泉陽高校は歴史の在る学校ですが校訓のようなものはありませんでした。そこで昨年、生徒会にお願いして120周年に向けての生徒スローガンを全校生徒で考えてもらいました。昨年度の後期終業式の生徒総会で決定しましたね。

「進取果敢！ 挫折を知りて己持つ」です。

皆さんは挫折を経験したことがありますか？ 私は……

挫折は早いうちに経験した方が良いと言われていています。その理由の1つは、自分を特別だと思う気持ちを抑制するためです。1度も挫折することがなければきっと驕り高ぶって周りの人たちを見下してしまいます。そして、成人しても「相手を見下す気持ち」が残っていれば周りから白い目で見られるだけでなく、その人の第1印象が固定されてしまいます。

2つめの理由は、早いうちに挫折をすることで、「挫折への耐性」を養い自分自身の人生を救えるからです。ニュースで「名声のある人が不祥事を起こした際に、自らこの世を去る事例」を見たことがあると思います。これも、根本的には「挫折への耐性」がないことが原因だと思われます。

また、挫折を知らない人間は挫折した人の気持ちが分からないとも言われています。

人の気持ち（痛み）が分からない人は必ず周囲との摩擦を引き起こします。そして次第に周囲の人は離れていき、最後には自分だけが取り残された孤独感を味わうことになってしまいます。「裸の王様」のように、これほど滑稽であわれな様はないです。

皆さんが生きるうえで1度も挫折を経験しないで済むならそれはとても幸せなことだと思います。しかし残念ながら多くの人生はそのようにできていません。このスローガンのように、高校生のうちに大きな決断力を持って失敗を恐れずにさまざまなことに挑戦しましょう。その結果、挫折を経験することもあります。それを乗り越えて自己を知り、自信を持ち、たくましく生きていく力をみんなで身に付けましょう！ 泉陽生ならできるはずです。

以上で、集会の話をおわります。